

SMBC マルチペイメントサービス

モジュール・タイプ

(PHP 版 口座振替(セレクト) インタフェース仕様)

2021 年 6 月 15 日 1.04 版

- ☑ 本書の著作権は「SMBC GMO PAYMENT 株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- ☑ 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- ☑ 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- ☑ 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- ☑ 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら、当社までご連絡下さい。

目次

1. はじめに	5
1.1. 開発するにあたっての注意事項	5
1.1.1. 取引について	5
1.1.2. 取引状態の遷移について	5
1.1.3. 振替指定日、請求依頼受付終了日、振替結果反映予定日について	6
2. インタフェース仕様	7
2.1. 口座振替する	7
2.2. 口座振替(セレクト)処理の流れ	7
2.2.2. 各インタフェース仕様詳細	8
2.3. 請求依頼を取り消しする	12
2.3.1. 請求依頼を取消する流れ	12
2.3.2. 各インタフェース仕様詳細	13
2.4. 請求内容を変更する	14
2.4.1. 請求依頼内容の変更を行う流れ	14
2.4.2. 各インタフェースの仕様詳細	15
3. マルチ決済インターフェース仕様	17
3.1. 決済結果を参照する	17
3.1.1. 取引状態参照の流れ	17
3.1.2. 各インターフェース仕様詳細	18

変更履歴

2017年2月8日 - 1.00版

- ・ 新規作成

2018年2月13日 - 1.01版

- ・ ShopPass の桁数を 8、SitePass の桁数を 10 に変更

2020年9月15日 - 1.02版

- ・ 3.1.2.1 取引状態参照 - 口座振替(セレクト)
No.14 BaResultCode (振替結果コード) 備考欄
「4: 預金口座振替依頼書なし」を「4: 預金口座振替依頼書未着もしくは不備」に変更

2021年4月20日 - 1.03版

- ・ 2.2.2.2 請求依頼
No.8 Remarks (請求内容) 備考欄に利用可能文字の追加

2021年6月15日 - 1.04版

- ・ 2.2.2.2 請求依頼
No.8 Remarks (請求内容) 未指定時の処理を変更

1. はじめに

本書は、お客様が本サービスの口座振替(セレクト)の開発を行う際に、円滑に進められるようにすることを目的としています。

本書では、以下のような表記を使用致します。

『』：処理状態または処理区分

【】：インタフェース名

1.1. 開発するにあたっての注意事項

ここでは、モジュール・タイプで開発する上で注意して頂きたい事をご説明を致します。

1.1.1. 取引について

以下に、取引内容に付いての注意事項をご説明を致します。

取引の削除

本サービスは、一度取引を行うと結果にエラーがあった場合でも取引の削除は出来ませんのでご注意ください。
そのため、オーダーIDの発番ルールに注文書番号等の設定すると変更が出来ない番号を使用しないで下さい。
どうしても、使用しなくてはいけない場合は、注文番号+連番のような発番ルールを推奨いたします。

1.1.2. 取引状態の遷移について

以下に、各取引状態の遷移をご説明を致します。

表 1.1.2-1 口座振替(セレクト)取引状態操作対応表

状態		操作	【請求依頼】	【請求依頼変更】	【請求依頼取消】
				※	※
『未決済』	取引を登録した状態		○	×	×
『請求依頼』	請求依頼した状態		×	○	○
『請求処理中』	請求処理を実行している状態		×	×	×
『請求成功』	請求処理が実行され、振替に成功した状態		×	×	×
『請求失敗』	請求処理が実行したが、振替に失敗した状態		×	×	×

※当該操作は、指定された振替指定日ごとの請求受付開始日～請求受付終了日の期間中のみ操作可能です。
各振替指定日ごとの請求依頼受付開始日・請求依頼受付終了日については、口座振替(セレクト)のスケジュールをご確認ください。

1.1.3. 振替指定日、請求依頼受付終了日、振替結果反映予定日について

口座振替(セレクト)では、振替指定日として以下の日付を指定可能です。

毎月 5 日、6 日、23 日、27 日

(指定した日付が非営業日の場合は、翌営業日に振替が行われます)

また、各振替指定日には受付期間(請求依頼受付終了日)が決められています。

(【請求依頼】【請求取消】【請求変更】操作時に、指定した振替指定日の受付期間外の場合はエラーとなります)

弊社では、依頼された請求を取りまとめて金融機関に振替処理をします。

金融機関での振替処理が完了すると、金融機関から振替結果を取得し、取引に結果を反映します。

結果通知プログラムをご利用の場合は、結果反映のタイミングで結果通知を加盟店様に送信します。

各振替指定日ごとの請求依頼受付終了日、振替結果反映予定日については、管理画面上の口座振替(セレクト)のスケジュールをご覧ください。

2. インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します

2.1. 口座振替する

振替対象の会員、振替する金額、振替指定日を指定して口座振替の請求依頼します。

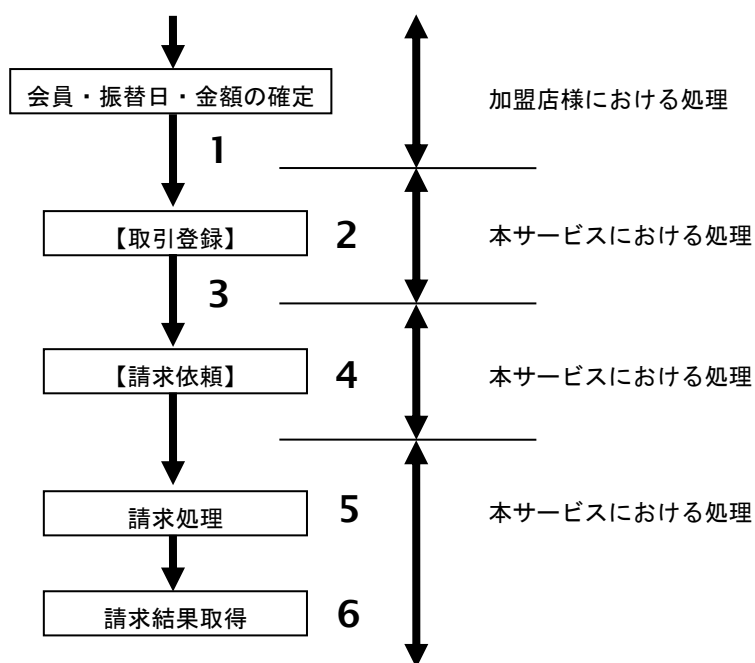
依頼した請求情報に基づき、弊社から金融機関に対して請求処理を行い、金融機関から返却される振替結果を取引情報を反映します。

- ・振替対象の会員には、あらかじめ口座情報を登録する必要があります。

(口座情報は、ペーパーの場合は登録後 30 日経過すると振替可能となります)

2.2. 口座振替(セレクト)処理の流れ

以下に、口座振替(セレクト)の処理の流れを示します。



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し、返します。
3. 加盟店様は、会員 ID、振替指定日をもって本サービスの**【請求依頼】**を呼び出します。
4. 本サービスは、取引に請求情報を登録し、結果を返却します。
5. 本サービスは、振替指定日の請求依頼日になるとの請求情報を取りまとめて金融機関に送付します。
6. 本サービスは、金融機関から振替結果を取得し、取引に反映します。

2.2.2. 各インタフェース仕様詳細

2.2.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します

【EntryTranBankaccount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranBankaccountInput	EntryTranBankaccountOutput	口座振替(セレクト)の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranBankaccountInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranBankaccountOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	Amount	◎	NUMBER	8	利用金額	
5	Tax		NUMBER	7	税送料	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.2.2.2. 請求依頼

インタフェース概要

口座振替に必要な情報を指定して請求を依頼します。

- ・振替対象の会員には、あらかじめ口座情報が登録する必要があります。
- ・指定した振替指定日の振替結果反映予定日まで本操作を行う必要があります。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranBankaccount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranBankaccountInput	ExecTranBankaccountOutput	口座振替(セレクト)請求依頼インタフェースを使用して、請求依頼を実施します。

【ExecTranBankaccountInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranBankaccountOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
4	SiteID	◎	CHAR	13	サイトID	弊社が発行する値を設定します。
5	SitePass	◎	CHAR	10	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。
6	MemberID	◎	CHAR	60	会員ID	決済する対象の会員IDを設定します。
7	TargetDate	◎	CHAR	8	振替指定日	振替する日をYYYYMMDD形式で指定します。 指定可能な日は5,6,23,27日です。
8	Remarks		CHAR	15	請求内容	請求内容を指定します。 指定可能な文字は半角英数(大文字のみ) 半角カタカナ(大文字のみ) ()、-(半角ハイフン)です。 未指定の場合は、加盟店様のショップ名カナを印字します。
9	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目 1	自由に設定して下さい。
10	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目 2	自由に設定して下さい。
11	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目 3	自由に設定して下さい。
12	CheckMode		CHAR	16	口座有効性チェックモード	“NOCHECK_ACCOUNT”：口座の有効性チェックを行いません。※1

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：口座は申込確定から1ヶ月経過後に利用可能となります。利用可能となる前の口座の場合は請求依頼時にエラーとなりますが、本パラメータを指定すると、利用可能ではない場合でも請求依頼を受け付けます。

(請求依頼は受け付けますが、金融機関側で「依頼書未着」エラーとなる可能性がございます)

出力パラメータ(本サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	CHAR	32	アクセス ID	【請求登録】呼出時に指定した値を返却します。
2	TargetDate	-	CHAR	8	振替指定日	振替指定日です。
3	RequestAccept EndDate	-	CHAR	8	振替受付終了日	本取引の請求依頼取消、請求依頼変更が可能な期日です。 本日付以降に請求依頼取消、請求依頼変更を行うことはできません。
4	TransferReturn Date	-	CHAR	8	振替結果反映予定日	振替結果が取引に反映される予定日です。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.2.2.3. 取引登録・請求依頼

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「請求依頼」を呼び出し、請求依頼をします。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranBankaccount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranBankaccountInput	EntryExecTranBankaccountOutput	口座振替(セレクト)の取引登録と請求依頼インタフェースを使用して、請求依頼を実施します。

【EntryExecTranBankaccountInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに請求依頼の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranBankaccountOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに請求依頼の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒本サービス)

「取引登録」「請求依頼」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(本サービス⇒加盟店)

「取引登録」「請求依頼」の出力パラメータを参照してください。

2.3. 請求依頼を取り消しする

請求依頼した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に請求依頼した取引を取消することが可能です。

該当取引の請求依頼受付終了日を過ぎると取消できなくなりますのでご注意ください。

※一度 取消処理が成功した上でもう一度取消を実施した場合はエラーになります。

2.3.1. 請求依頼を取消する流れ

以下に取消する流れをご説明します。

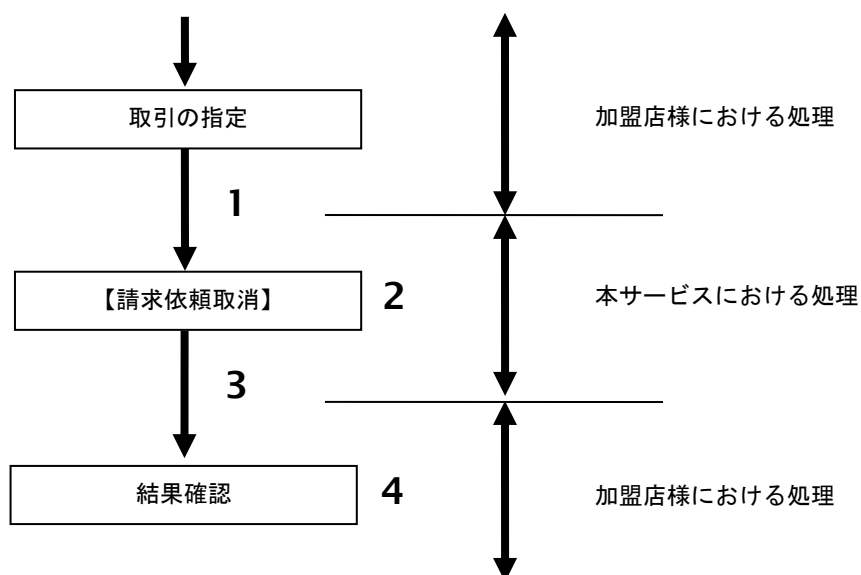


図 2.3.1-1 請求依頼取消の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取消する取引の取引IDと取引パスワードを指定し、本サービスの【請求依頼取消】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引の請求情報を取消します。
3. 本サービスは、取消結果を返します。
4. 加盟店様は、請求取消の結果を確認します。

2.3.2. 各インタフェース仕様詳細

2.3.2.1. 請求依頼取消

インタフェース概要

請求依頼した取引の取消を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【BankaccountCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	BankaccountCancelInput	BankaccountCancelOutput	口座振替(セレクト)の請求依頼取消インタフェースを使用して、請求を取消します。

【BankaccountCancelInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【BankaccountCancelOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(本サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【請求取消】呼出時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL：取消 処理失敗時は処理前のステータスが維持されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

2.4. 請求内容を変更する

請求依頼した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に請求依頼した取引の請求依頼内容を変更することが可能です。(複数回、実行可能です)

該当取引の請求依頼受付終了日を過ぎると変更できなくなりますのでご注意ください。

2.4.1. 請求依頼内容の変更を行う流れ

以下に請求依頼内容を変更する流れをご説明します。

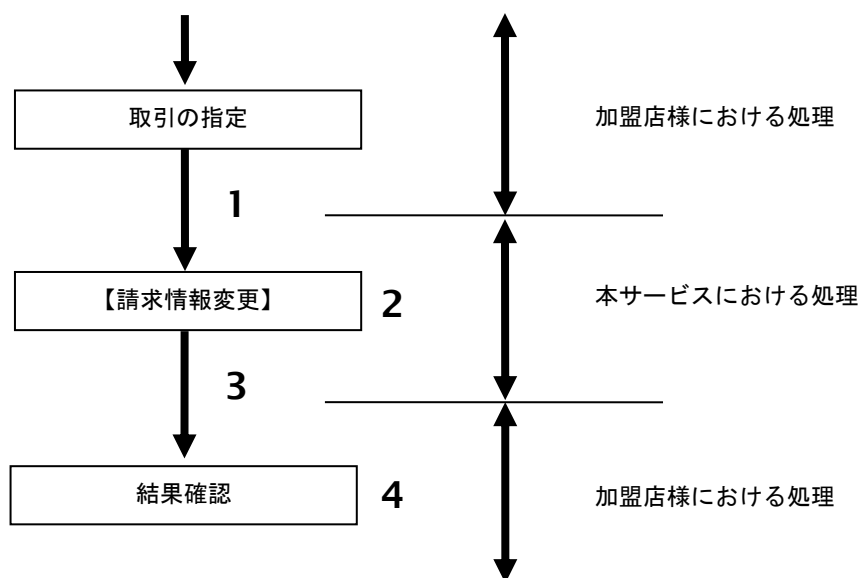


図 2.4.1-1 請求情報変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、変更する取引の取引IDと取引パスワード、および変更後の請求情報を指定し、本サービスの【請求情報変更】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引の請求情報を変更します。
3. 本サービスは、変更結果を返します。
4. 加盟店様は、請求依頼変更の結果を確認します。

2.4.2. 各インタフェースの仕様詳細

2.4.2.1. 請求情報変更

インタフェース概要

請求登録した取引に対して請求情報の変更を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【BankaccountChange】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	BankaccountChange Input	BankaccountChange Output	口座振替(セレクト)の請求情報変更 インタフェースを使用して、請求情 報を変更します。

【BankaccountChangeInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【BankaccountChangeOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定 します。
6	Amount		NUMBER	8	変更後利用金額	指定の金額で利用金額を設定しなします。
7	Tax		NUMBER	7	変更後税送料	指定の金額で税送料を設定しなします。
8	Remarks		CHAR	15	変更後請求内容	指定の内容で請求内容を設定しなします。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【請求取消】呼出時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	本操作後の現状態を返却します。(※1)
3	Amount	-	NUMBER	8	利用金額	本操作後の利用金額を返却します。(※1)
4	Tax	-	NUMBER	7	税送料	本操作後の税送料を返却します。(※1)
5	Remarks	-	CHAR	15	請求内容	本操作後の請求内容を返却します。(※1)
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：エラーの場合、値は変更されず、変更前の値を返却します。

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

3. マルチ決済インターフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインターフェース詳細についてご説明します。

3.1. 決済結果を参照する

オーダーID を指定すると、該当の決済結果を取得すること(以下、取引状態参照)が可能です。通信障害でタイムアウトが発生した場合等で決済結果が取得できなかった場合は、本インターフェースにて取得して下さい。

3.1.1. 取引状態参照の流れ

下に決済の結果を参照する流れをご説明します。

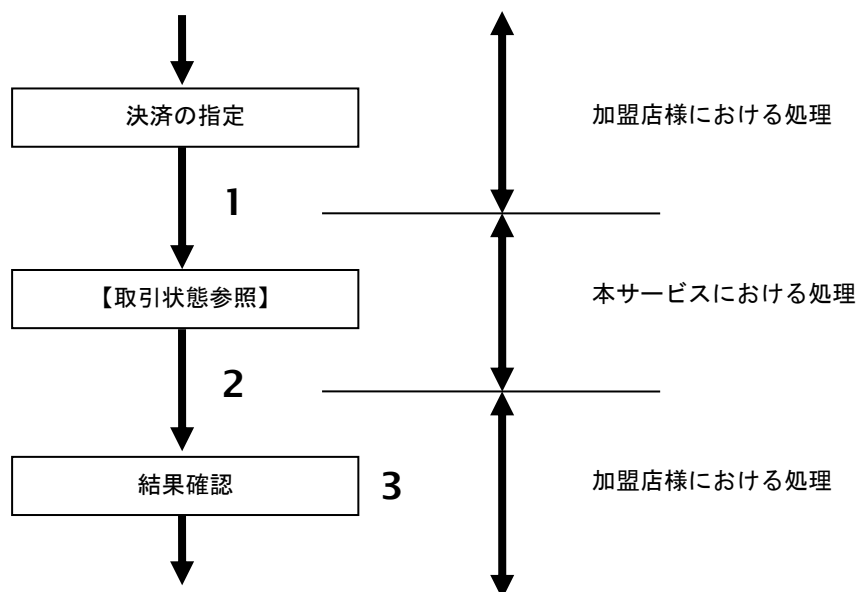


図 3.1.1-1 取引状態参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、参照する取引のオーダーID を指定し本サービスの【取引状態参照】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引の内容を取得して返します。
3. 加盟店様は、取引の結果を確認します。

3.1.2. 各インターフェース仕様詳細

3.1.2.1. 取引状態参照

インターフェース概要

指定したオーダーIDの取引情報を取得します。

インターフェース詳細

以下のAPIを使用します。

【SearchTradeMulti】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	SearchTradeMultiInput	SearchTradeMultiOutput	マルチ決済タイプの取引登録インターフェイスを使用して、取引を開始します。

【SearchTradeMultiInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SearchTradeMultiOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒本サービス)

各パラメータ値をPOSTで送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	PayType	◎	string	2	決済方法	28：口座振替(セレクト)
2	ShopID	◎	string	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

口座振替(セレクト)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 請求登録 SEND : 請求処理中 PAYSUCCESS : 請求成功 CANCEL : 請求取消 PAYFAIL : 請求失敗
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	OrderID	-	String	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を返却します
6	Amount	-	NUMBER	8	利用金額	振込依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	7	税送料	振込依頼をした金額を返却します。
8	SiteID	-	String	13	サイト ID	
9	MemberID	-	String	60	会員 ID	
10	BaTargetDate	-	String	8	振替指定日	振替指定日(YYYYMMDD)
11	BaRequestAcceptEndDate	-	String	8	請求依頼受付終了日	請求依頼受付終了日(YYYYMMDD)
12	BaTransferReturnDate	-	String	8	振替結果反映予定日	振替結果反映予定日(YYYYMMDD)
13	BaWithdrawalDate	-	String	8	実引落日	実際に引落が行われた日(YYYYMMDD)
14	BaResultCode	-	String	1	振替結果コード	振替結果を示す以下のコード 1 : 資金不足 2 : 預金取引なし 3 : 預金者都合による振替停止 4 : 預金口座振替依頼書未着もしくは不備 8 : 委託者の都合による振替停止 9 : その他 E : 請求不能 N : 振替結果未着
15	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
16	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
17	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
18	PayType	-	String	2	決済方法	28 : 口座振替(セレクト)
19	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
20	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)